

決算審査特別委員会

第57号議案・平成23年度白石市各会計歳入歳出決算の認定については、定例会2日目(9月6日)の本会議において質疑が行われた後、議長及び監査委員(佐藤英雄)を除く全議員で構成する決算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・沼倉啓介、副委員長・澁谷政義)で、9月8日及び9日の2日間にわたる審査を行い、反対及び賛成の討論ののち、表決の結果、賛成多数で認定しました。審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

〔質疑〕市民バスの1日当たりの利用者数の推移を見ると、平成20年度535人をピークに減少している。平成22年10月から小原線が新たに加わったという点も加味し、今後の利用者推移をどのように分析しているのか。

あるのか。
〔答弁〕小原線であり、小原自治会の方々から、口頭での要望があった。

〔答弁〕今後の利用者推移については、高齢者あるいは通学児童・生徒の利用というのが非常に多いバスなので、人口減少が進む状況では利用者の増加は見込めないと思っている。

〔質疑〕市民バス運行本数の増便要望が出されているとあるが、どの便で増便の要望があるのか。

平成23年度 市民バス利用実績

	利用者数(人)	1日平均(人)
福岡線	26,090	106.9
三本木線	12,098	49.6
大網線	837	16.7
白川線	2,101	21.4
越河線	25,394	104.1
白角線	13,044	53.5
薬師堂線	1,636	6.7
大張線	15,060	61.7
小原線	11,014	45.1
合計	107,274	439.6

(利用者数：対前年度比 0.6%増)

〔質疑〕増便要望のあるという小原線は観光客も多く、社会参加するにしても日曜便は必要と思うがいかがか。

〔答弁〕利用者の大半が児童・生徒及び高齢者ということであり、日曜日は学校は休み、病院についてはやっていないということもあり、利用者層と経費の関係を総合すると、日曜日の運行は難しいと考えている。

〔質疑〕「生き生きメール」や、市政モニターなど市民からの意見を公募して、市政運営に反映させることができたものなどがあれば、ご紹介いただきたい。

〔答弁〕市政モニター等の意見を参考にしながら、除染や、放射線量の測定、宅地災害に対する助成を実施できたと考えている。

〔質疑〕現在の住民基本台帳カード(住基カード)の発行枚数を教えていただきたい。

〔答弁〕住基カードは平成15年度からスタートし、3月までに98枚発行しているが、お

亡くなりになったり転出した方などで使えなくなった方がおり、8月末で市民が持っている有効枚数は874枚になっている。

〔質疑〕住基カードというのは、住民票発行や図書館カードなど多目的利用が可能となるものなので、住基カードの存在を市民に周知する工夫をしていただけませんか。

〔答弁〕現在、窓口でPRには努めているが、今後広報やホームページでさらにPRしていきたい。

〔質疑〕震災による被害が非常に大きかったことから、今も道路の復旧が追いつかない状況にあると思うが、今後の復旧見通しについて伺いたい。

〔答弁〕市道の復旧工事は、国災としては138件である。

本年8月31日現在の発注率は79%であり、そのうち工事が完成したのが55件で、復旧率は約40%となっている。

その他に工事が60万円以下の単発工事が100件以上あるが、これについてはほとんど

未着工の状況であり、今後、順次発注していきたいと考えている。

できる限り、平成24年度中に今工事の完了を目指しているが、最終的には平成25年度までかかるのではないかと考えている。

〔質疑〕現在もイノシシ、サルの被害が拡大しているが、農林作物鳥獣被害防止対策の補助金を有効に活用されているのか。

〔答弁〕農林作物鳥獣被害防止対策である電柵そのものについては有効であると考えている。ただ、地域ぐるみで設置しないと、電柵を設置したところの被害は減るが、設置していないところの被害が増えるというような反面もある。これからは地域でまとまって行うとか、そういうものを考えていかなるを得ないと思っ

補助金額についても増えているので、需要はあると思っ